



横浜市民ギャラリーに学ぶ 展示空間の つくりかた

2025 **12.13** sat 14:00-15:45
(13:30 受付)



写真上：「横浜市民ギャラリーコレクション展2025」の様子
下左：「横浜市民こどもの美術展2024」の様子
下右：「横浜市民ギャラリーコレクション展2022」の様子
photo: Ken KATO

作品を並べるだけで、満足していませんか？

展覧会の印象は「見せ方」で大きく変わります。
横浜市民ギャラリーの事例をもとに、展示空間の
作り方を学びましょう。作品配置やライティング
など実用的なノウハウも解説していただきます。

講師

佐藤正美 Sato Masami
(横浜市民ギャラリー副館長)

齋藤里紗 Saito Risa
(横浜市民ギャラリー学芸員)

会場/サルビアホール3階ギャラリー

料金/800円

定員/30名

対象/展覧会を企画したい方



イベント詳細

先行受付 2025
10.14 (火) 10時 ▶ 10.20 (月) 10時
一般受付 2025 10時 ▶ 窓口
10.21 (火) 14時 ▶ 電話・WEB



横浜市民ギャラリー

横浜市民ギャラリーは1964年に横浜市初の公設文化施設として開設され、以来市民の皆さまに親しまれています。貸出施設としては市内最大規模の展示面積を有し、多くの美術団体の発表の場として利用されています。横浜・神奈川ゆかりの作家を中心に約1300点の作品を収蔵し、自主企画として年3回の展覧会を開催するほか、子どもや大人を対象とする講座を実施しています。2014年10月に現在の地に移転、2024年4月に開館60周年を迎えました。公式ウェブサイト<https://ycag.yafjp.org/>

講師

佐藤正美 Sato Masami

横浜市民ギャラリー副館長

1990年より旭区民文化センターに勤務、横浜能楽堂、吉野町市民プラザ、横浜美術館などの勤務を経て、2018年から横浜市民ギャラリーで管理運営業務を担当

齋藤里紗 Saito Risa

横浜市民ギャラリー学芸員

2006年より横浜市民ギャラリーに勤務、キュレーション、コレクション調査研究業務を担当。主な展覧会に「横浜市民ギャラリーコレクション展2019 昭和後期の現代美術1964～1989」(2019年)「新・今日の作家展2024 あなたのの中のわたし」(2024年)など



横浜市民ギャラリー外観 photo: UESUGI Akira



2階展示室 photo: UESUGI Akira



「新・今日の作家展2024」の様子 photo: KEN Kato

申込受付

LINE先行受付

一般受付

2025年10月14日(火)10時～10月20日(月)10時

2025年10月21日(火)

- ・サルビアホール窓口：10時～
- ・LINEチケット：14時～
- ・電話予約：14時～



LINEチケット

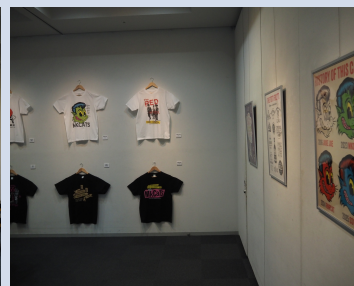
LINEチケットのご利用にはアプリ「LINE」へのご登録（お友だち登録）が必要となります
電話予約の際は予約後1週間以内に窓口もしくは指定銀行口座への振り込みをお願いいたします。またチケット郵送料（300円）が別途かかります。
キャッシュレス決済には手数料がかかります。

サルビアホール ギャラリーで 展覧会を開きませんか？

4日間から貸し出し可能です。
可動式パネルで、自由に展示空間を設計できます。

利用料金

入場料無料	4,100円/1日
入場料有料	6,200円/1日



一部壁はガラス貼り、昼夜で変わる表情

可動展示パネルで自由に展示できる